

カーボンマネジメント人材 各レベルにおいて評価対象となる主な能力等(能力評価基準)

平成23年2月7日

レベル1 (エントリーレベル)

【実践キャリア・アップ戦略 基本方針(案)】

- 「一定期間の教育・訓練を受け、導入研修を終えた程度の能力である」
- 「職業準備教育を受けた段階」

【カーボンマネジメント人材における特徴】

- 「理解できる」(注:座学のみならず、実習・インターンシップ等によるものも含む)
- ・省エネ・温室効果ガス削減等に関する各種制度、代表的手法など

【能力の概要】

- ・ 省エネ・温室効果ガス削減等に関する各種制度(省エネ法、温暖化対策推進法、各種排出量取引制度等)を理解(制度活用の相談先・情報入手先等が分かる)
- ・ 温室効果ガスの算定方法を理解
- ・ 省エネ・温室効果ガス削減等に関する代表的な手法を理解

【関連資格等】(注:代表的なものに限る。あくまで本制度の各レベルにおける能力評価の際の参考となるものであり、本制度のレベルを完全に代替するものではない)

- ・ 省エネ普及指導員 (注:家庭のみを対象としていることに留意する必要あり) 等

レベル2（スペシャリストレベル①）

【基本方針(案)】

「一定の指示があれば、ある程度の仕事ができる」

【カーボンマネジメント人材における特徴】

「実施できる(基礎レベル)」

- ・自社における中・小規模の設備管理
- ・事業主体全体(エンティティベース)の算定等

【能力の概要】

- ・ 自社(外部労働市場から特定の事業主体に派遣された場合等を含む。以下同じ。)において、定型的で、比較的中・小規模な特定の設備単位でのエネルギー管理、定期報告書・中長期計画書の作成が可能
- ・ 自社において、各種制度(温暖化対策推進法、自主行動計画、試行排出量取引制度、東京都排出量取引制度等)に基づき、事業主体全体(エンティティベース)に関する排出量の算定・報告が可能

【関連資格等】

- ・ エネルギー管理員(第2種エネルギー管理指定工場等)

レベル3（スペシャリストレベル②）

【基本方針(案)】

「指示等がなくとも、一人前の仕事ができる」

【カーボンマネジメント人材における特徴】

「実施できる(応用レベル)」

- ・自社等における中・小規模の設備管理
- ・プロジェクトベースでの削減量の算定等

【能力の概要】

- ① 自社等(特定業種における複数の企業である場合も含む。)において、特定の中・小規模の設備単位でのエネルギー管理、定期報告書・中長期計画書の作成が可能
→ 特定の設備等に関するエネルギー管理標準の作成が可能
- ② 自社等において、ベースライン・アンド・クレジット関連の各種制度(国内クレジット制度、オフセットクレジット制度等)に基づき、特定の事業(プロジェクトベース)に関する削減量の算定・報告が可能
→ 「排出削減方法論」(標準的削減手法)の分野横断的・基礎事項を理解するとともに、代表的・基礎的な技術分野(ボイラー、空調、照明、ヒートポンプ等。以下「基本技術分野」という。)については、方法論に基づく排出削減計画書の策定が可能

※ 上記の2つの能力(①・②)の一方を有していれば、他方は必ずしも全部を有していなくともよいこととするか。

【関連資格等】

- ・ ビル省エネ診断技術士等

レベル4（プロレベル）

【基本方針(案)】

- 「一人前の仕事ができることに加えて、チーム内でリーダーシップを発揮するとともに、必要に応じて『指示』や『指導』を行うことができる」
- 「高度な専門スキルを有する」
- 「本レベル以上が『アセッサー』になれる」

【カーボンマネジメント人材における特徴】

- 「自社等において責任を持って、チームを指示・指導できる」
 - ・自社等における大規模な設備管理
 - ・総合管理、戦略策定、内部審査・検証等
 - ・人材の評価・育成

【能力の概要】

- ① 自社において、責任を持って、省エネに関する総合管理(企画・立案、指示・提言等)、中長期も含めた基本戦略策定(規制対応・積極活用)、そのためのチームマネジメントなどが可能
 - 定期報告書・中長期計画書・エネルギー管理標準の内部検証等が可能
 - ② 自社等において、責任を持って、温室効果ガス削減等に関する総合管理(企画・立案、指示・提言等)、中長期も含めた基本戦略策定(規制対応・積極活用)、そのためのチームマネジメントなどが可能
 - ・排出削減計画書・報告書等の内部審査・検証等が可能
 - ・新規の方法論の作成が可能
 - ・「基本技術分野」以外の、少なくとも一つの「専門技術分野」における排出削減計画書の作成が可能
- 《専門技術分野(案)》
- ・基本技術分野以外の熱・電気
 - ・燃焼
 - ・再生エネルギー
 - ・バイオマス利用
 - ・廃棄物
 - ・輸送
 - ・農業・畜産
 - ・森林(間伐、森林経営、植林等)

※ 上記の2つの能力(①・②)の一方を有していれば、他方は必ずしも全部を有していなくてもよいこととするか。

【関連資格等】

- ・ エネルギー管理士(第1種エネルギー管理指定工場等)

レベル5（上級プロレベル①）

【基本方針(案)】

「プロレベルのスキルに加えて、特定の専門分野・業種におけるさらに高度な専門性を持っている、あるいは、その人の独自の方法(オリジナリティ)が顧客等から認知・評価される」

【カーボンマネジメント人材における特徴】

「他社へ有料サービスを提供できる」

- ・他社の不特定多数の設備の管理・診断
- ・多数の排出削減計画書等の策定支援

【能力の概要】

- ① 他社(顧客等)に対し、責任を持って、エネルギー使用合理化に関する総合管理(企画・立案等)、中長期も含めた基本戦略策定(規制対応・積極活用)の支援が可能
 - 不特定多数の設備等に関する理解と省エネ措置の提案等が可能
- ② 他社(顧客等)に対し、責任を持って、温室効果ガス削減等に関する総合管理(企画・立案等)、中長期も含めた基本戦略策定(規制対応・積極活用)の支援が可能
 - 多数の排出削減計画書・報告書等の作成支援等が可能
 - ・特に「基本技術分野」以外の、多数の「専門技術分野」における排出削減計画書の作成支援等が可能
 - ・新規の方法論を作成、提案等が可能
 - ・スタッフとして第三者審査・検証等が可能(審査員クラス)

※ 上記の2つの能力(①・②)の一方を有していれば、他方は必ずしも全部を有していなくともよいこととするか。

参 考

以下のレベル6・7については、来年度の実証事業等の結果も踏まえ、引き続き検討。

レベル6（上級プロレベル②）

【カーボンマネジメント人材における特徴】

「他社へ専門・高度なサービスを提供できる」

「他社同士の連携を支援・調整できる」

【能力の概要】

- ① 豊富な知見・経験等に基づき、管理士・診断士の評価等が可能
- ② 他社(顧客等)に対し、各種制度に基づく第三者審査・検証等が可能
→ 豊富な知見・経験等に基づき、審査業務等に関するチームリーダーになれる、又は他の審査チームによる審査業務等のレビューが可能(主任審査員クラス)

※ 上記の2つの能力(①・②)の一方を有していれば、他方は必ずしも全部を有していなくともよいこととするか。

レベル7（名人レベル）

【基本方針(案)】

「分野を代表するトップ・プロフェッショナル」

【カーボンマネジメント人材における特徴】

「トップ・プロフェッショナルとしての能力」

【能力の概要】

- ・ 豊富な知見・経験等に基づき、当該分野の有識者・オピニオンリーダー等として、制度の大枠の検討や、海外での案件組成・人材育成等が可能